

中央区 子育て支援に関するニーズ調査、ひとり親家庭実態調査 追加クロス集計結果について

令和5年度第3回子ども・子育て会議後に、委員より以下についてクロス集計分析の要望がありましたので、結果を報告します。

【追加クロス集計事項】

1 子育て支援の満足度について

- (1)子育てをする上で足りていないと感じること…………… P2～3
- (2)中央区は子育てしやすいまちか…………… P4～5
- (3)以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか…………… P6～7
- (4)中央区への居住意向…………… P8～10

2 子育て世帯が抱える困難について

- (1)子育てに関する悩みや気になること…………… P11～12
- (2)子どもを保護者に代わってみってくれる親族・知人の有無…………… P13～14
- (3)親の病気(産後自身が病気をしてしまった人)…………… P15～16
- (4)経済的な困窮経験がある人(就学前・小学校児童保護者)…………… P17～23
- (5)経済的な困窮経験がある人(ひとり親家庭)…………… P24～26

3 子育て支援施設・事業を利用していない理由について

- (1)定期的な施設・事業を利用していない理由…………… P27
- (2)区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由… P28～29
- (3)不定期で事業を利用していない理由…………… P30～31

4 父親の育児参加について…………… P32

1. 子育て支援の満足度について

(1) 子育てをする上で足りていないと感じること

◆子育てをする上で足りていないと感じること:

就学前児童保護者調査(問42/報告書 P95)

子育てをする上で足りていないと感じることは、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境(60.7%)」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間(43.8%)」、「子どもが家族と過ごす時間(31.6%)」が続いている。

子どもの年齢別にみると、どの年齢においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間」が続いている。次いで、0・1歳では「親子で過ごせる場所や講座、イベント」、2歳では「子どもが家族と過ごす時間」、3・4・5歳では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」となっている。

居住地域別にみると、どの地域においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間」が続いている。次いで、京橋地域では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」、日本橋地域、月島地域では「子どもが家族と過ごす時間」となっている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間」が続いている。次いで、タイプA、タイプC、タイプC'では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」、タイプBでは「子どもが家族と過ごす時間」、タイプDでは「子どもの自立を促す取組」と「親子で過ごせる場所や講座、イベント」が同率となっている。

子育てをする上で足りていないと感じること
(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別):複数回答 (%)

		子どもが十分に学習できる環境	子どもが安全に生活できる環境	子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	子どもが家族と過ごす時間	子どもの自立を促す取組	子どもが十分に学習できる環境	子どもが安全に生活できる環境	子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	子どもが家族と過ごす時間	子どもの自立を促す取組	子どもが十分に学習できる環境	子どもが安全に生活できる環境	子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	子どもが家族と過ごす時間	子どもの自立を促す取組	子どもが十分に学習できる環境	子どもが安全に生活できる環境	子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	子どもが家族と過ごす時間	子どもの自立を促す取組	その他	無回答
全	体(N=2,384)	31.0	21.3	17.9	31.6	24.6	20.8	23.3	20.1	60.7	26.7	23.7	43.8	13.8	7.0	4.1	2.1						
子どもの年齢別	0歳(n=418)	26.1	24.4	22.7	28.9	20.1	14.8	21.3	13.4	63.2	35.9	22.0	49.5	14.8	8.4	3.8	2.4						
	1歳(n=400)	26.8	22.3	19.8	33.8	21.5	17.0	27.3	17.8	62.8	35.0	21.3	46.5	15.5	7.8	4.8	0.8						
	2歳(n=411)	29.9	17.5	14.4	33.6	22.6	19.7	22.1	21.7	60.1	26.8	22.4	48.7	13.6	6.3	5.1	2.2						
	3歳(n=390)	36.2	24.9	17.2	35.1	26.4	24.4	26.2	22.3	57.4	24.9	27.2	37.7	14.6	5.9	3.8	2.3						
	4歳(n=378)	32.8	19.8	17.2	31.2	31.7	25.4	21.2	23.5	59.3	19.8	25.1	40.2	13.2	7.1	3.7	2.9						
	5歳(n=369)	36.0	19.0	15.7	28.2	26.6	24.7	22.2	22.8	61.2	17.3	23.8	39.3	10.8	6.2	3.3	1.9						
居住地域別	京橋地域(n=564)	30.7	19.0	18.1	29.4	25.2	21.1	22.5	17.2	59.6	23.4	23.9	46.8	13.5	7.1	3.9	2.0						
	日本橋地域(n=805)	31.6	23.1	18.5	33.4	25.3	18.5	24.5	20.2	66.0	30.3	24.3	42.6	12.5	6.3	4.1	2.0						
	月島地域(n=1,007)	30.9	21.3	17.4	31.7	23.6	22.2	22.9	21.5	57.3	25.8	23.0	43.3	14.9	7.3	4.1	2.3						
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭(n=67)	40.3	25.4	16.4	31.3	19.4	16.4	13.4	19.4	71.6	20.9	17.9	41.8	14.9	6.0	6.0	4.5						
	タイプB フルタイム×フルタイム(n=1,514)	33.4	22.2	18.0	38.0	24.2	20.5	23.4	22.2	63.9	28.0	26.1	44.5	14.7	6.6	3.7	1.3						
	タイプC フルタイム×パートタイム(n=221)	33.0	23.1	17.2	26.7	29.4	25.3	24.4	23.1	56.1	25.8	23.1	47.1	12.7	6.8	2.7	0.9						
	タイプC' フルタイム×パートタイム(n=85)	30.6	20.0	21.2	22.4	20.0	27.1	23.5	22.4	49.4	22.4	25.9	37.6	16.5	7.1	1.2	4.7						
	タイプD 専業主婦(夫)(n=430)	21.2	17.7	17.9	13.7	25.6	20.0	23.7	10.9	53.0	25.6	15.3	40.9	10.2	7.7	5.8	4.7						

*家庭類型タイプE、E'、Fは対象者が少ないので記載しない。

◆子育てをする上で足りていないと感じること:

小学校児童保護者調査(問 33/報告書 P151)

子育てをする上で足りていないと感じることは、全体では、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境(61.8%)」が最も高く、「子どもの自立を促す取組(32.3%)」、「子どもが十分に学習、勉強できる環境(30.6%)」、「子どもが自由に遊ぶ時間(29.9%)」、「子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会(29.4%)」が続いている。

子どもの学年別にみると、どの学年においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高くなっている。次いで、1・4～6年生では「子どもの自立を促す取組」、2・3年生では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」となっている。

居住地域別にみると、どの地域においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高くなっている。次いで、京橋地域では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」、日本橋地域、月島地域では「子どもの自立を促す取組」となっている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間」が続いている。次いで、タイプA、タイプBでは「子どもが十分に学習、勉強できる環境」、タイプC、タイプDでは「子どもの自立を促す取組」、タイプC'では「子どもが自由に遊ぶ時間」となっている。

子育てをする上で足りていないと感じること
(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別):複数回答

		子どもが十分に学習、勉強できる環境	子どもが安全に生活できる環境	子どもにとって危険の無い生活	子どもが家族と過ごす時間	子どもの自立を促す取組	子どもたちが自分たちのことを自分で決める機会	子どもにとって充実した食生活	子どもが自由に遊ぶ時間	子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	親子で過ごせる場所や講座、イベント	子どものゆとりある生活	保護者が自由に過ごせる時間	地域での支えあい	子育て経験者からのアドバイス	その他	無回答
全	体 (N=2,130)	30.6	15.8	12.2	22.4	32.3	29.4	13.6	29.9	61.8	11.2	23.6	23.8	9.5	5.0	3.9	1.7
子どもの学年別	1 年 生 (n= 363)	29.2	19.0	12.9	26.4	32.0	28.4	15.7	28.9	65.3	11.8	24.0	28.7	9.1	5.2	3.9	1.4
	2 年 生 (n= 366)	32.8	17.8	13.7	23.2	30.6	30.3	16.9	29.5	62.0	12.8	21.3	28.4	10.4	4.4	3.8	2.2
	3 年 生 (n= 369)	35.0	14.9	12.5	22.8	29.3	29.0	14.6	26.3	63.4	9.5	23.6	27.1	9.5	3.8	3.3	1.9
	4 年 生 (n= 344)	29.9	16.3	12.5	23.0	34.9	31.7	12.5	34.3	59.3	11.3	25.0	19.5	10.2	5.2	4.1	1.7
	5 年 生 (n= 355)	31.8	15.2	12.7	19.2	35.5	25.1	10.7	30.7	60.0	10.7	22.3	20.8	7.0	5.9	4.8	2.3
	6 年 生 (n= 330)	23.9	11.2	8.8	19.4	32.4	32.1	10.6	30.0	60.3	10.9	25.5	17.3	10.9	5.8	3.9	0.6
居住地域別	京 橋 地 域 (n= 498)	32.1	12.2	11.6	21.3	29.3	25.1	12.4	27.3	58.8	9.2	22.7	22.7	10.2	5.6	4.4	2.2
	日 本 橋 地 域 (n= 695)	28.8	17.0	12.2	22.0	33.4	30.5	14.2	31.9	66.3	10.9	23.6	23.3	8.2	3.9	2.6	1.3
	月 島 地 域 (n= 936)	31.0	16.8	12.5	23.3	33.2	30.9	13.7	29.7	59.9	12.5	23.9	24.8	10.0	5.6	4.7	1.7
家庭類型別	タイプ A ひとり親家庭 (n= 64)	32.8	25.0	6.3	25.0	25.0	26.6	20.3	20.3	56.3	14.1	31.3	25.0	14.1	6.3	6.3	3.1
	タイプ B フルタイム×フルタイム (n= 962)	33.4	15.4	12.4	28.0	32.6	29.4	14.7	29.2	63.4	11.1	23.6	25.1	9.1	3.5	4.0	1.4
	タイプ C フルタイム×パートタイム (n= 347)	29.7	15.3	11.8	19.0	31.7	26.2	13.5	28.2	59.9	9.2	23.9	22.5	8.1	5.8	2.9	2.6
	タイプ C' フルタイム×パートタイム (n= 196)	30.6	14.8	11.2	14.8	31.6	32.7	9.7	33.2	66.8	11.2	23.5	24.5	12.8	7.1	4.6	1.0
	タイプ D 専業主婦(夫) (n= 451)	24.4	16.0	13.1	16.4	31.9	29.7	11.1	30.4	57.6	12.0	20.4	21.3	8.9	6.2	3.5	1.8

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者が少ないので記載しない。

(2)中央区は子育てしやすいまちか

◆中央区は子育てしやすいまちか:就学前児童保護者調査(問 43/報告書 P96)

中央区は子育てしやすいまちかたずねたところ、全体では、「とてもしやすいまちだと思う」が20.4%、「どちらかといえば、しやすいまちだと思う」が59.1%であり、合計した《しやすいまちだと思う》は79.5%となっている。「あまりしやすいまちだとは思わない」が10.4%、「しやすいまちだとは思わない」が4.7%であり、合計した《しやすいまちだとは思わない》は15.1%となっている。

子どもの年齢別にみると、4歳で「とてもしやすいまちだと思う(23.5%)」が高くなっている。

居住地域別にみると、月島地域で「とてもしやすいまちだと思う(22.4%)」が高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプDで「とてもしやすいまちだと思う(23.3%)」が高くなっている。また、タイプAで「しやすいまちだとは思わない(10.4%)」が高くなっている。

中央区は子育てしやすいまちか(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)

			ととも しやす いまち だ	しど ちら か と い え ば、 し や す い ま ち だ と 思 う	とあ まり し や す い ま ち だ と 思 わ な い	わ し や す い ま ち だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答														
全	体 (N=2,384)		20.4	59.1	10.4	4.7	4.6	0.9														
子 ど も の 年 齢 別	0	歳 (n= 418)	17.5	62.0	11.0	3.1	5.5	1.0														
	1	歳 (n= 400)	19.0	59.5	11.8	4.8	4.8	0.3														
	2	歳 (n= 411)	20.7	59.6	9.2	5.1	4.4	1.0														
	3	歳 (n= 390)	20.3	61.5	9.7	4.1	3.6	0.8														
	4	歳 (n= 378)	23.5	55.6	10.6	5.6	3.2	1.6														
	5	歳 (n= 369)	21.1	56.1	10.6	5.1	6.2	0.8														
地 域 別 居 住	京	橋	地	域 (n= 564)	19.9	58.9	10.1	4.4	5.9	0.9												
	日	本	橋	地	域 (n= 805)	18.1	59.6	12.8	4.3	4.3	0.7											
	月	島	地	域 (n=1,007)	22.4	58.7	8.8	5.0	4.1	1.0												
家 庭 類 型 別	タ	イ	プ	A	ひ	と	り	親	家	庭 (n= 67)	16.4	53.7	7.5	10.4	7.5	4.5						
	タ	イ	プ	B	フ	ル	タ	イ	ム	×	フ	ル	タ	イ	ム (n=1,514)	19.8	60.5	10.8	4.3	4.2	0.5	
	タ	イ	プ	C	フ	ル	タ	イ	ム	×	パ	ー	ト	タ	イ	ム (n= 221)	19.9	61.1	9.0	3.2	6.3	0.5
	タ	イ	プ	C'	フ	ル	タ	イ	ム	×	パ	ー	ト	タ	イ	ム (n= 85)	16.5	57.6	8.2	7.1	8.2	2.4
	タ	イ	プ	D	専	業	主	婦	(夫) (n= 430)	23.3	56.0	10.5	4.7	3.7	1.9					

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆中央区は子育てしやすいまちか:小学校児童保護者調査(問 35/報告書 P153)

中央区は子育てしやすいまちかたずねたところ、全体では、「とてもしやすいまちだと思う」が22.5%、「どちらかといえば、しやすいまちだと思う」が60.6%であり、合計した《しやすいまちだと思う》は83.1%となっている。「あまりしやすいまちだとは思わない」が9.5%、「しやすいまちだとは思わない」が3.9%であり、合計した《しやすいまちだとは思わない》は13.4%となっている。

子どもの年齢別にみると、6年生で「とてもしやすいまちだと思う(28.8%)」が高くなっている。

居住地域別にみると、どの地域においても同様の傾向である。

家庭類型別にみると、タイプC、タイプAで「とてもしやすいまちだと思う」が25%程度で若干高くなっている。

中央区は子育てしやすいまちか(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)

			(%)					
			と と 思 う も し や す い ま ち だ	し ど ち ら か と い え ば、 し や す い ま ち だ と 思 う	と あ ま り し や す い ま ち だ と 思 わ な い	わ し や す い ま ち だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全	体	(N=2,130)	22.5	60.6	9.5	3.9	3.3	0.2
子 ど も の 学 年 別	1	年 生 (n= 363)	21.2	60.9	10.2	3.9	3.6	0.3
	2	年 生 (n= 366)	19.9	60.4	12.0	4.9	2.7	0.0
	3	年 生 (n= 369)	20.6	62.3	11.1	3.5	2.4	0.0
	4	年 生 (n= 344)	23.8	61.6	7.8	3.2	3.2	0.3
	5	年 生 (n= 355)	21.4	61.7	8.7	3.9	3.7	0.6
	6	年 生 (n= 330)	28.8	56.4	7.0	3.9	3.9	0.0
地 域 別	京	橋 地 域 (n= 498)	24.1	58.4	8.4	4.0	5.0	0.0
	日	本 橋 地 域 (n= 695)	20.1	63.6	9.9	2.7	3.3	0.3
	月	島 地 域 (n= 936)	23.4	59.5	9.8	4.7	2.4	0.2
家 庭 類 型 別	タ	イ 型 A ひ と り 親 家 庭 (n= 64)	25.0	59.4	9.4	3.1	3.1	0.0
	イ	型 B フ ル タ イ ム × フ ル タ イ ム (n= 962)	21.2	62.6	8.7	4.5	3.0	0.0
	イ	型 C フ ル タ イ ム × パ ー ト タ イ ム (n= 347)	25.4	57.3	9.8	4.6	2.9	0.0
	イ	型 C' フ ル タ イ ム × パ ー ト タ イ ム (n= 196)	18.9	60.2	10.7	4.6	5.6	0.0
	イ	型 D 専 業 主 婦 (夫) (n= 451)	23.9	59.9	10.4	1.6	3.3	0.9

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(3)以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか

◆以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか：

就学前児童保護者調査(問 44/報告書 P97)

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったかたずねたところ、全体では、「とても良くなったと思う」が 8.7%、「どちらかといえば良くなったと思う」が 30.3%であり、合計した《よくなったと思う》は 39.0%となっている。

子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど《よくなったと思う》の割合が高くなり、「最近転入してきてよくわからない」と「わからない」の割合が低くなる傾向にある。

居住地域別にみると、どの地域においても全体と同様の傾向である。

家庭類型別にみると、タイプAで《よくなったと思う(47.8%)》の割合が高くなっている。

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)

		(%)						
		ととも 思 う も 良 く な っ た	良 ど ち ら か な ら つ か た と い え ば	あ ま り 変 わ ら な い	悪 ど ち ら か な ら つ か た と い え ば	よ 最 く 近 く わ か ら な い し て き て	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=2,384)	8.7	30.3	19.0	2.3	12.2	26.6	0.9
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 418)	5.5	21.5	9.1	0.5	21.3	40.7	1.4
	1 歳 (n= 400)	9.0	20.8	13.8	2.3	16.0	38.0	0.3
	2 歳 (n= 411)	8.0	28.5	21.4	1.9	13.6	26.0	0.5
	3 歳 (n= 390)	8.7	37.9	19.2	2.6	8.2	22.6	0.8
	4 歳 (n= 378)	12.7	31.5	27.0	2.6	6.9	17.7	1.6
	5 歳 (n= 369)	8.7	43.4	24.9	4.3	6.0	11.7	1.1
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 564)	9.2	29.1	18.8	1.1	12.9	28.0	0.9
	日 本 橋 地 域 (n= 805)	8.3	30.4	19.1	2.1	11.6	27.6	0.9
	月 島 地 域 (n=1,007)	8.6	30.9	19.0	3.2	12.3	25.0	1.0
家 庭 類 型 別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	7.5	40.3	22.4	1.5	9.0	14.9	4.5
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	9.0	32.0	19.5	1.8	10.9	26.4	0.5
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	8.6	28.5	19.5	3.2	10.4	29.4	0.5
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	5.9	27.1	23.5	3.5	15.3	23.5	1.2
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	8.8	24.9	15.6	3.7	17.0	27.7	2.3

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか:

小学校児童保護者調査(問 36/報告書 P154)

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったかたずねたところ、全体では、「とても良くなったと思う」が 10.0%、「どちらかといえば良くなったと思う」が 32.9%であり、合計した《よくなったと思う》は 42.9%となっている。

子どもの学年別にみると、1年生で《よくなったと思う》が 48.2%で高くなっている。

居住地域別にみると、京橋地域で《よくなったと思う》が 46.2%で高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAで「最近転入してきてよくわからない(10.9%)」が1割を超えて高くなっている。

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)

			(%)						
			とても 思うも 良くな った	良ど くち なら つか たとい 思え うば	あ ま り 変 わ ら な い	悪ど くち なら つか たとい 思え うば	よ最 く近 わ転 か入 から し て き て	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=2,130)		10.0	32.9	31.0	10.2	4.2	11.4	0.3
子 ど も の 学 年 別	1	年 生 (n= 363)	11.8	36.4	24.8	8.3	5.5	12.9	0.3
	2	年 生 (n= 366)	8.5	33.9	32.5	8.7	4.9	10.9	0.5
	3	年 生 (n= 369)	8.1	35.5	29.3	11.9	3.0	12.2	0.0
	4	年 生 (n= 344)	12.8	27.6	33.1	9.9	5.8	10.5	0.3
	5	年 生 (n= 355)	7.3	30.7	34.4	11.8	3.4	11.8	0.6
	6	年 生 (n= 330)	12.1	33.0	31.8	10.6	2.4	10.0	0.0
地 域 別 居 住	京	橋 地 域 (n= 498)	12.9	33.3	30.5	6.6	5.2	11.4	0.0
	日	本 橋 地 域 (n= 695)	9.8	34.0	29.1	9.8	4.5	12.4	0.6
	月	島 地 域 (n= 936)	8.8	31.8	32.7	12.4	3.4	10.7	0.2
家 庭 類 型 別	タ	イ プ A ひ と り 親 家 庭 (n= 64)	17.2	26.6	26.6	7.8	10.9	10.9	0.0
	タ	イ プ B フ ル タ イ ム × フ ル タ イ ム (n= 962)	10.7	33.6	30.6	10.0	4.2	11.0	0.0
	タ	イ プ C フ ル タ イ ム × パ ー ト タ イ ム (n= 347)	10.4	31.4	30.3	12.4	4.0	11.2	0.3
	タ	イ プ C' フ ル タ イ ム × パ ー ト タ イ ム (n= 196)	8.7	31.1	33.7	11.2	2.6	12.2	0.5
	タ	イ プ D 専 業 主 婦 (夫) (n= 451)	7.8	34.1	31.9	8.9	4.4	12.0	0.9

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(4)中央区への居住意向

◆中央区への居住意向：就学前児童保護者調査(問 45/報告書 P98)

居住意向は、全体では、「ずっと住みたい(50.3%)」が最も高く、「子どもの小学校卒業まで住みたい(20.7%)」、「子どもの小学校入学前まで住みたい(11.7%)」が続いている。

子どもの年齢別にみると、どの年齢においても「ずっと住みたい」は5割前後であり、年齢が高くなるほど「子どもの小学校入学前まで住みたい」の割合が低くなり、「子どもの小学校卒業まで住みたい」の割合が高くなっている。

居住地域別にみると、「ずっと住みたい」の割合は地域差があり、京橋地域では56.6%、日本橋地域では52.5%、月島地域では45.1%となっている。

家庭類型別にみると、タイプC'で「ずっと住みたい(36.5%)」が3割台で低くなっている。

居住意向(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)

		前子ども でも住み 小学校 入学前 まで	子ども でも住み 小学校 卒業前 まで	子ども でも住み 小学校 卒業後 まで	子ども でも住み 小学校 卒業後 まで	子ども でも住み 小学校 卒業後 まで	子ども でも住み 小学校 卒業後 まで	子ども でも住み 小学校 卒業後 まで	子ども でも住み 小学校 卒業後 まで	(%)
		11.7	20.7	4.8	3.3	3.6	50.3	4.7	0.9	無回答
全	体 (N=2,384)	11.7	20.7	4.8	3.3	3.6	50.3	4.7	0.9	
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 418)	17.2	14.6	4.8	2.2	3.1	51.4	5.3	1.4	
	1 歳 (n= 400)	18.0	17.5	3.0	2.5	3.3	50.5	5.0	0.3	
	2 歳 (n= 411)	12.9	20.0	4.6	4.6	3.2	48.9	5.4	0.5	
	3 歳 (n= 390)	11.0	21.3	4.9	4.1	3.1	50.3	4.9	0.5	
	4 歳 (n= 378)	6.9	21.2	6.6	3.7	4.5	51.1	4.2	1.9	
	5 歳 (n= 369)	3.3	30.4	5.1	2.4	4.6	50.1	3.3	0.8	
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 564)	10.8	18.4	3.0	2.3	2.5	56.6	5.7	0.7	
	日 本 橋 地 域 (n= 805)	12.0	21.7	4.8	2.4	2.4	52.5	3.5	0.6	
	月 島 地 域 (n=1,007)	12.1	21.1	5.8	4.6	5.2	45.1	5.1	1.2	
家 庭 類 型 別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	9.0	19.4	0.0	3.0	4.5	53.7	7.5	3.0	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	11.7	20.5	5.0	3.2	3.4	51.5	4.0	0.7	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	10.4	24.9	8.1	2.7	2.3	46.2	5.0	0.5	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	10.6	23.5	9.4	3.5	5.9	36.5	9.4	1.2	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	12.6	19.3	2.1	3.3	4.2	52.1	4.9	1.6	

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆中央区への居住意向:小学校児童保護者調査(問 37/報告書 P155)

居住意向は、全体では、「ずっと住みたい(55.7%)」が最も高く、「子どもの小学校入学前まで住みたい(17.7%)」、「子どもの中学校卒業まで住みたい(10.0%)」が続いている。

子どもの学年別にみると、4・6年生で「ずっと住みたい」が6割を超えて高くなっている。

居住地域別にみると、「ずっと住みたい」の割合は地域差があり、京橋地域では 58.0%、日本橋地域では 60.0%、月島地域では 51.4%となっている。

家庭類型別にみると、「ずっと住みたい」の割合は、タイプBで最も高く 58.0%、タイプC'で最も低く 50.0%となっている。

居住意向(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)

		ま 子 で ど ど も の 続 け 続 け たい 卒 業	ま 子 で ど ど も の 続 け 続 け たい 卒 業	業 子 ま ど も の 住 み 高 等 学 校 卒 業	で 子 ど も の 住 み 続 け 続 け たい 卒 業	ず っ と 住 み 続 け たい	転 出 し たい	(%) 無 回 答
全	体 (N=2,130)	17.7	10.0	7.2	6.2	55.7	2.7	0.6
子 ど も の 学 年 別	1 年 生 (n= 363)	26.7	11.6	4.4	4.1	49.0	4.1	0.0
	2 年 生 (n= 366)	19.9	9.6	6.3	2.7	56.6	4.6	0.3
	3 年 生 (n= 369)	21.7	9.8	6.8	5.7	52.6	3.0	0.5
	4 年 生 (n= 344)	14.0	6.1	9.0	6.7	62.2	1.2	0.9
	5 年 生 (n= 355)	15.2	11.8	7.9	7.6	54.9	1.1	1.4
	6 年 生 (n= 330)	7.0	10.9	9.4	10.3	60.0	2.1	0.3
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 498)	19.5	9.0	5.6	5.6	58.0	2.0	0.2
	日 本 橋 地 域 (n= 695)	15.5	9.8	7.6	3.5	60.0	2.7	0.9
	月 島 地 域 (n= 936)	18.3	10.6	7.8	8.3	51.4	3.1	0.5
家 庭 類 型 別	タイプA ひとり親家庭 (n= 64)	23.4	10.9	4.7	4.7	56.3	0.0	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	16.6	9.5	7.0	6.3	58.0	2.2	0.4
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	18.7	11.2	8.1	6.1	53.0	2.6	0.3
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	18.4	12.2	6.6	5.6	50.0	6.1	1.0
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 451)	19.3	9.1	8.0	5.8	53.9	2.9	1.1

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆中央区への居留意向:ひとり親家庭実態調査(問 37/報告書 P76)

居留意向は、全体では、「ずっと住みたい(62.2%)」が最も高く、「子どもの大学卒業まで住みたい(11.5%)」、「子どもの中学校卒業まで住みたい(7.8%)」が続いている。

性別にみると、男性は、「ずっと住みたい(75.0%)」が7割を超えている。

居住地域別にみると、「ずっと住みたい」の割合は地域差があり、京橋地域では60.0%、日本橋地域では54.2%、月島地域では67.3%となっている。

末子の年代別にみると、それぞれ0～5歳では「子どもの小学校入学前まで住みたい(17.6%)」、6～11歳では「子どもの小学校卒業まで住みたい(12.6%)」、12～14歳では「子どもの中学校卒業までは住みたい(19.7%)」が全体より高くなっている。また、「ずっと住みたい」の割合は6～11歳、15～18歳で6割を超えている。

居留意向(全体、性別、居住地域別、末子の年代別)

		前子どもでも住み続けたい	子どもみ続けた卒業										
		前子どもでも住み続けたい	子どもみ続けた卒業										
全		体 (N=296)	3.0	6.1	7.8	5.4	11.5	62.2	2.7	1.4			
性別	男	性 (n= 12)	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	75.0	0.0	0.0			
	女	性 (n=283)	3.2	6.4	8.1	5.3	11.3	61.5	2.8	1.4			
居住地域別	京橋地域 (n= 60)		3.3	6.7	6.7	5.0	15.0	60.0	1.7	1.7			
	日本橋地域 (n= 80)		4.8	7.2	12.0	6.0	13.3	54.2	1.2	1.2			
	月島地域 (n=153)		2.0	5.2	5.9	5.2	9.2	67.3	3.9	1.3			
末子の年代別	0歳～5歳 (n= 34)		17.6	8.8	8.8	0.0	2.9	55.9	2.9	2.9			
	6歳～11歳 (n= 95)		3.2	12.6	8.4	2.1	6.3	65.3	1.1	1.1			
	12歳～14歳 (n= 61)		0.0	4.9	19.7	6.6	11.5	54.1	3.3	0.0			
	15歳～18歳 (n= 87)		0.0	0.0	0.0	11.5	18.4	63.2	4.6	2.3			

2. 子育て世帯が抱える困難について

(1) 子育てに関する悩みや気になること

◆ 子育てに関する悩みや気になること：就学前児童保護者調査(問8/報告書 P16)

子育てに関する悩みや気になることは、全体では、「住居が狭い(51.8%)」が最も高く、「急な時に頼れる人がいない(41.3%)」、「子育てに出費がかさむ(40.3%)」が続いている。

子どもの年齢別にみると、どの年齢においても「住居が狭い」が最も高くなっている。また、0歳では「食事や栄養に関すること(51.4%)」、「病気や発育・発達に関すること(40.0%)」が全体より10ポイント以上高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAでは「子育てに出費がかさむ(55.2%)」、タイプC'では「子育てに出費がかさむ(50.6%)」と「住居が狭い(50.6%)」が同率、それ以外のタイプでは「住居が狭い」が最も高くなっている。また、タイプC'では「仕事が十分にできない(31.8%)」が全体より10ポイント以上高くなっている。

子育てに関する悩みや気になること(全体、子どもの年齢別、家庭類型別)：複数回答 (%)

		病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもの性格や癖が心配である	子どもが病気がちである	育児の方法がよくわからないこと	子どもの接し方に自信がもてないこと	子どもとの時間を十分に取れないこと	子育てについて話し相手や相談相手がいないこと	自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまつて手を上げたり、無視してしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てによる身体の疲れが大きい	仕事が十分にできない	
全	体 (N=2,384)	28.5	39.2	30.7	3.5	6.3	16.2	28.4	8.4	32.4	25.4	5.8	12.6	38.7	19.1	
子どもの年齢別	0	40.0	51.4	19.6	3.8	10.5	14.1	19.1	9.3	36.1	9.3	4.1	18.2	45.5	15.8	
	1	30.3	41.8	23.5	4.5	7.0	14.3	27.3	8.8	34.5	18.3	5.3	12.5	44.3	21.3	
	2	25.5	41.4	32.1	1.5	8.8	20.7	29.4	8.0	34.1	32.6	6.6	11.4	40.9	20.2	
	3	25.6	42.1	40.3	4.9	3.6	16.9	34.9	9.2	29.7	30.8	6.9	10.8	36.9	22.3	
	4	26.7	30.7	37.6	3.2	3.7	17.5	30.7	7.9	29.9	33.1	7.7	12.4	33.9	17.5	
	5	22.2	27.1	32.8	3.5	4.1	14.4	30.9	7.3	30.4	30.6	4.6	10.3	30.1	18.4	
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	23.9	28.4	34.3	6.0	4.5	17.9	31.3	11.9	26.9	34.3	6.0	13.4	29.9	22.4	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	27.7	37.8	29.7	3.8	5.7	14.7	34.1	8.0	32.9	23.8	5.5	11.9	38.8	20.2	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	31.2	38.0	33.9	3.6	6.3	18.1	28.5	8.1	37.6	30.3	5.9	15.4	40.7	25.8	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	21.2	45.9	25.9	3.5	7.1	17.6	20.0	9.4	32.9	30.6	7.1	12.9	31.8	31.8	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	32.1	44.4	32.6	2.3	8.6	20.2	9.1	7.9	27.9	25.8	5.8	12.8	38.6	7.4	
		子育てに追われ、社会から孤立する	子どもの教育に関すること	子どもの友達つきあいにすること	登園拒否などの問題について	子育てに出費がかさむ	住居が狭い	子育てに関する配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関して配偶者・パートナーと意見が合わないこと	近隣の子ども・職場など周囲の目が気になる	自分の子育てについて、親族・近隣の子ども・職場など周囲の目が気になる	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	急な時に頼れる人がいない	その他	特になし	無回答
全	体 (N=2,384)	7.3	37.3	18.9	3.0	40.3	51.8	14.9	9.6	4.2	23.1	41.3	2.3	2.9	1.1	
子どもの年齢別	0	15.6	41.1	14.4	2.9	39.7	53.1	15.1	8.4	2.9	23.7	41.4	1.4	2.2	0.7	
	1	9.3	41.0	12.0	2.3	43.5	55.5	13.5	10.0	3.8	23.3	45.3	2.3	3.8	0.5	
	2	5.4	38.2	14.8	2.7	41.1	50.6	14.8	7.3	4.6	23.1	41.6	2.9	2.7	1.2	
	3	4.6	33.6	25.9	4.1	41.5	55.4	12.8	7.9	5.9	26.7	41.8	3.6	2.6	1.5	
	4	4.0	40.2	27.0	4.0	38.1	49.5	18.3	13.2	5.3	19.3	42.3	2.9	1.6	0.3	
	5	4.6	29.8	21.1	2.2	37.1	47.4	15.7	11.7	2.7	23.0	36.9	1.1	4.6	1.1	
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	10.4	41.8	17.9	6.0	55.2	49.3	26.9	7.5	4.5	19.4	34.3	3.0	4.5	1.5	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	5.5	38.0	18.2	3.0	39.8	54.5	14.7	10.0	3.8	23.2	41.4	2.4	2.9	0.8	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	5.4	34.8	21.7	1.4	42.5	52.5	18.1	10.4	5.0	24.0	50.7	3.2	0.9	0.0	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	10.6	37.6	17.6	1.2	50.6	50.6	16.5	10.6	3.5	20.0	47.1	1.2	1.2	0.0	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	13.3	35.1	20.9	3.5	36.0	45.8	12.1	8.1	4.9	24.2	36.3	1.4	4.2	1.6	

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆子育てに関する悩みや気になること:小学校児童保護者調査(問8/報告書 P111)

子育てに関する悩みや気になることは、全体では、「子どもの教育に関すること(45.2%)」が最も高く、「住居が狭い(40.1%)」、「子育てに出費がかさむ(38.8%)」、「子どもの性格や癖が心配である(35.5%)」が続いている。

子どもの学年別にみると、1年生では「住居が狭い」、2～5年生では「子どもの教育に関すること」、6年生では「子育てに出費がかさむ」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプC'では「子育てに出費がかさむ」、それ以外の家庭類型では「子どもの教育に関すること」が最も高くなっている。

子育てに関する悩みや気になること(全体、子どもの学年別、家庭類型別):複数回答

		病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもの性格や癖が心配である	子どもが病気がちである	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもとの時間を十分に取れないこと	子育てについて話し相手や相談相手がいないこと	自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまって手や腕が疲れること	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てによる身体の疲れが大きい	仕事が多忙でできない	(%)
全	体 (N=2,130)	21.4	21.1	35.5	2.0	2.7	11.5	26.1	5.8	16.3	30.5	5.4	3.9	17.5	13.1	
子どもの学年別	1 年生 (n= 363)	26.4	24.5	43.8	1.4	4.1	16.0	29.5	6.3	19.3	37.2	6.3	6.3	22.0	14.6	
	2 年生 (n= 366)	21.0	20.5	40.4	2.2	2.5	10.9	27.9	7.7	19.9	32.5	5.5	4.1	21.6	15.8	
	3 年生 (n= 369)	24.7	21.7	33.6	2.4	2.7	13.3	28.5	6.8	16.3	34.1	6.8	2.7	18.7	16.3	
	4 年生 (n= 344)	17.4	24.1	32.3	2.0	3.5	11.3	27.3	3.2	14.2	30.8	5.8	3.8	12.8	11.0	
	5 年生 (n= 355)	21.1	20.3	32.4	1.7	2.3	9.3	21.4	5.1	16.1	27.0	3.9	3.7	16.6	11.5	
	6 年生 (n= 330)	17.0	15.2	30.3	2.4	0.9	7.6	21.8	5.5	11.5	20.3	3.6	3.0	12.4	8.5	
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 64)	18.8	20.3	34.4	1.6	1.6	9.4	23.4	6.3	17.2	20.3	4.7	3.1	15.6	12.5	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	19.6	21.2	36.5	1.6	2.5	12.0	34.0	5.4	14.8	32.8	5.2	4.4	17.9	13.9	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	21.9	15.9	36.6	2.3	2.6	10.7	21.9	3.7	15.9	29.4	5.5	3.7	15.3	15.3	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	21.4	28.6	34.7	2.6	3.6	13.8	18.4	6.1	21.9	23.5	6.6	2.6	18.9	15.8	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 451)	23.5	20.0	34.8	2.9	2.4	10.2	16.0	6.7	16.2	29.3	5.5	4.4	17.5	9.1	
		子育てに追われ、社会から孤立するようになる	子どもの教育に関すること	子どもの友達つきあいに問題がある	登校拒否、不登校などの問題について	子育てに出費がかさむ	住居が狭い	子育てに協力が少ないこと	子育てに関する配偶者・パートナーとの意見が合わないこと	近隣の子ども・職場など周囲の目や視線が気になる	自分の子育てについて、親族・友人・知人などに相談しにくいこと	急なときに頼れる人がいない	その他	特になし	無回答	(%)
全	体 (N=2,130)	4.3	45.2	34.2	5.7	38.8	40.1	16.8	11.5	4.5	16.9	29.4	2.2	6.1	1.5	
子どもの学年別	1 年生 (n= 363)	5.0	43.5	36.6	4.7	38.0	44.1	16.0	10.2	5.0	18.5	35.0	3.9	4.4	0.8	
	2 年生 (n= 366)	3.8	43.7	34.7	4.9	33.6	41.8	15.0	9.8	4.6	18.3	32.0	2.2	4.1	2.2	
	3 年生 (n= 369)	4.1	50.4	38.2	6.0	37.1	42.5	19.8	10.0	5.4	19.8	34.4	2.7	3.8	1.6	
	4 年生 (n= 344)	4.4	42.7	33.1	5.5	40.1	38.1	17.4	14.2	2.9	13.4	22.7	1.5	6.7	2.0	
	5 年生 (n= 355)	4.2	48.7	33.0	5.6	42.0	36.9	16.6	11.8	4.8	15.5	28.7	0.8	8.2	0.8	
	6 年生 (n= 330)	4.5	41.8	29.4	7.6	42.7	37.0	15.8	13.0	4.2	16.1	23.0	2.1	9.7	1.5	
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 64)	4.7	51.6	42.2	7.8	43.8	37.5	12.5	10.9	4.7	12.5	31.3	4.7	6.3	1.6	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	2.4	45.2	35.0	5.5	36.3	41.1	15.1	11.7	5.2	15.7	28.9	2.1	5.7	1.6	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	4.0	45.5	32.3	4.6	42.7	40.1	19.0	11.0	3.7	17.0	28.2	2.0	7.2	1.2	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	3.1	43.9	30.1	5.1	48.0	40.3	18.9	12.2	3.6	17.3	29.6	4.6	6.1	0.5	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 451)	7.8	44.6	33.9	6.7	36.4	40.1	17.5	10.4	4.2	19.5	29.9	1.3	6.0	2.2	

*家庭類型タイプE、E'、Fは対象者が少ないので記載しない。

(2)子どもを保護者に代わってみしてくれる親族・知人の有無

◆子どもを保護者に代わってみしてくれる親族・知人の有無:

就学前児童保護者調査(問 10/報告書 P18)

子どもを保護者に代わってみしてくれる親族・知人の有無は、全体では、「緊急時または用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(53.2%)」が5割台であり、「日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(9.4%)」、「緊急時または用事の際には友人・知人にみてもらえる(6.6%)」は1割以下となっている。また、「いずれもない」は35.3%となっている。

子どもの年齢別にみると、1歳で「いずれもない(39.5%)」が4割弱で高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAで「日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(28.4%)」が2割台後半で高くなっている。また、タイプC、タイプC'で「いずれもない」が4割台で高くなっている。

子どもを保護者に代わってみしてくれる親族・知人の有無(全体、子どもの年齢別、家庭類型別):複数回答

			親日常的にみても祖父母・兄弟等の	て祖緊急もらえ・また兄弟等は用事の親族にみは	も日常的に友人・知人にみて	友緊急・時または友人にみてもの際には	いずれもない	無回答
全		体 (N=2,384)	9.4	53.2	0.4	6.6	35.3	0.4
子どもの年齢別	0	歳 (n= 418)	9.1	51.4	0.7	4.3	37.8	0.2
	1	歳 (n= 400)	8.8	51.0	0.0	3.5	39.5	0.3
	2	歳 (n= 411)	10.7	55.2	0.2	5.8	32.8	0.0
	3	歳 (n= 390)	8.7	51.8	0.8	6.9	36.9	0.8
	4	歳 (n= 378)	9.8	53.2	0.0	7.9	34.9	0.3
	5	歳 (n= 369)	9.5	57.5	0.5	11.7	29.5	0.3
家庭類型別	タイプA	ひとり親家庭 (n= 67)	28.4	46.3	1.5	9.0	23.9	0.0
	タイプB	フルタイム×フルタイム (n=1,514)	8.8	55.4	0.4	5.0	34.7	0.3
	タイプC	フルタイム×パートタイム (n= 221)	7.7	48.4	0.5	7.7	40.3	0.0
	タイプC'	フルタイム×パートタイム (n= 85)	7.1	44.7	0.0	15.3	43.5	0.0
	タイプD	専業主婦(夫) (n= 430)	10.7	51.9	0.2	9.1	34.9	0.2

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無:

小学校児童保護者調査(問 10/報告書 P113)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無は、全体では、「緊急時または用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(47.4%)」が4割台、「緊急時または用事の際には友人・知人にみてもらえる(15.7%)」が1割台であり、「日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(9.6%)」は1割以下となっている。また、「いずれもない」は35.3%となっている。

子どもの学年別にみると、1・2・6年生で「いずれもない」が3割台後半と若干高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAでは「日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(26.6%)」が2割台で高くなっていて、「いずれもない(31.3%)」は3割強で全体を若干下回っている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(全体、子どもの学年別、家庭類型別):複数回答

		(%)					
		日常的に親族に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる	緊急時に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる	日常的に友人・知人にみてもらえる	緊急時または用事の際には友人・知人にみてもらえる	いずれもない	無回答
全	体 (N=2,130)	9.6	47.4	1.7	15.7	35.3	0.2
子どもの学年別	1 年 生 (n= 363)	7.7	46.3	1.7	14.6	37.7	0.3
	2 年 生 (n= 366)	8.5	46.7	1.4	16.1	37.7	0.0
	3 年 生 (n= 369)	10.3	47.7	1.1	18.2	33.3	0.0
	4 年 生 (n= 344)	10.8	49.1	3.2	14.0	32.8	0.6
	5 年 生 (n= 355)	10.7	47.9	1.1	16.6	33.5	0.0
	6 年 生 (n= 330)	10.0	46.7	2.1	14.8	36.7	0.0
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 64)	26.6	40.6	3.1	14.1	31.3	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	9.8	49.3	1.5	13.5	34.5	0.1
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	10.4	47.8	1.2	15.9	35.2	0.3
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	8.2	43.9	4.1	15.8	37.8	0.0
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 451)	7.8	46.6	1.6	19.7	36.4	0.0

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(3)親の病気(産後自身が病気をしてしまった人)

◆子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無:

就学前児童保護者調査(問 10/報告書 P162)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無について、産後の母親の体調で自身が病気をしてしまったと回答した人では、「いずれもない」が 36.7%となっている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(全体、産後に母親が病気をした人)

		(%)						
		親日常的に祖父母・兄弟等のみでもらえる	祖父母・兄弟等の親族にのみ	緊急時または用事の際には	日常的に友人・知人にのみ	友人・知人には用事の際には	いずれもない	無回答
全 体 (N=2,384)		9.4	53.2	0.4	6.6	35.3	0.4	
問32 産後の母親の体調	自身が病気をしてしまった人 (n= 139)	7.9	52.5	0.0	7.2	36.7	0.0	

◆妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人:

就学前児童保護者調査(問 31/報告書 P163)

妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人について、産後の母親の体調で自身が病気をしてしまったと回答した人では、概ね全体と同様の傾向だが、「配偶者・パートナー(79.1%)」が全体(85.5%)を 6.4 ポイント下回っている。

妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人
(全体、産後に母親が病気をした人)

		(%)											
		配偶者・パートナー	同居の父母	以内で行き来できる範囲 母・近居父母(概ね30分)	里帰り出産をした際の父	遠居の父母	父母以外の親族	育児支援ヘルパー、ベビーシッター	友人・知人	近所の人	その他	誰もいなかった	無回答
全 体 (N=2,384)		85.5	2.1	26.4	45.7	14.9	3.1	38.8	2.6	4.7	2.0	1.2	
問32 産後の母親の体調	自身が病気をしてしまった人 (n= 139)	79.1	0.7	28.8	48.2	14.4	3.6	41.7	2.9	5.8	4.3	0.0	

◆産後の育児に関して困ったことやつらかったこと:

就学前児童保護者調査(問 33/報告書 P163)

産後の育児に関して困ったことやつらかったことについて、産後の母親の体調で自身が病気をしてしまったと回答した人では、「自分体調が悪く自分の思うような育児ができなかったこと(64.7%)」が最も多くなっている。また、他にも「育児に慣れないこと(54.0%)」、「授乳のこと(48.9%)」、「家事のこと(42.4%)」、「家事・育児の協力者がいないこと(28.8%)」の4項目で全体を 10 ポイント以上上回っている。

産後の育児に関して困ったことやつらかったこと(全体、産後に母親が病気をした人)

		授乳のこと	沐浴のこと	夜泣きのこと	育児に慣れないこと	上の子どものこと	家事のこと	家事・育児の協力者がいないこと	自分自身の体調が悪く自分の思うような育児ができなかったこと	経済的負担	新型コロナウイルス感染症への感染に気を付けること	その他	特になかった	無回答
全 体 (N=2,384)		38.6	4.0	38.6	40.4	18.9	29.8	18.7	18.7	9.9	30.5	7.0	8.6	1.4
問32 産後の母親の体調	自身が病気をしてしまった人 (n= 139)	48.9	7.2	43.9	54.0	15.8	42.4	28.8	64.7	15.8	36.0	11.5	2.2	0.0

◆産後の育児について、一緒に子育てや家事を助けてくれたと感じる人:

就学前児童保護者調査(問 34/報告書 P164)

産後の育児について、一緒に子育てや家事を助けてくれたと感じる人について、産後の母親の体調で自身が病気をしてしまったと回答した人では、「誰もいなかった」が 8.6%となっており、全体を上回っている。

産後の育児について、一緒に子育てや家事を助けてくれたと感じる人
(全体、産後に母親が病気をした人)

		配偶者・パートナー	同居の父母	里帰り出産をした際の父 母・近居父母(概ね30分 以内で行き来できる範囲)	遠居の父母	父母以外の親族	育児支援ヘルパー、ベビー シッター	友人・知人	近所の人	その他	誰もいなかった	無回答
全 体 (N=2,384)		81.4	2.6	26.1	41.3	11.1	6.7	15.1	1.8	3.6	3.3	1.2
問32 産後の母親の体調	自身が病気をしてしまった人 (n= 139)	78.4	1.4	30.2	42.4	8.6	10.1	15.1	2.9	4.3	8.6	0.0

(4) 経済的な困窮経験がある人(就学前児童保護者調査、小学校児童保護者調査)

<経済的な理由による困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」もしくは「頻繁にあった」と回答した人>

◆経済的な困窮経験の有無:就学前児童保護者調査(問 47/報告書 P101)

経済的な困窮経験が「ある」のは、全体では 6.2%となっている。
 子どもの年齢別にみると、「ある」の割合は、0歳で 9.2%と高い。
 居住地域別にみると、いずれの地域でも同様の傾向である。
 家庭類型別にみると、「ある」の割合は、タイプ C' で 8.2%と高い。

経済的な困窮経験の有無(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)

		(%)		
		あ る	な い	無 回 答
全	体 (N=2,384)	6.2	93.5	0.3
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 418)	9.1	90.9	0.0
	1 歳 (n= 400)	6.5	93.3	0.3
	2 歳 (n= 411)	4.4	95.1	0.5
	3 歳 (n= 390)	5.9	94.1	0.0
	4 歳 (n= 378)	5.6	93.9	0.5
	5 歳 (n= 369)	5.1	94.0	0.8
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 564)	6.4	93.6	0.0
	日 本 橋 地 域 (n= 805)	5.3	94.5	0.1
	月 島 地 域 (n=1,007)	6.9	92.5	0.7
家 庭 類 型 別	タ イ プ A 一 人 親 家 庭 (n= 67)	7.5	92.5	0.0
	タ イ プ B フルタイム×フルタイム (n=1,514)	5.5	94.3	0.3
	タ イ プ C フルタイム×パートタイム (n= 221)	5.4	94.1	0.5
	タ イ プ C' フルタイム×パートタイム (n= 85)	8.2	90.6	1.2
	タ イ プ D 専業主婦(夫) (n= 430)	7.4	92.1	0.5

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆経済的な困窮経験の有無：小学校児童保護者調査(問 39/報告書 P158)

経済的な困窮経験が「ある」のは、全体では 6.3%となっている。
 子どもの年齢別にみると、「ある」の割合は、3年生で 7.9%と高い。
 居住地域別にみると、「ある」の割合は、京橋地域で 8.2%と高い。
 家庭類型別にみると、「ある」の割合は、タイプ C' で 8.7%と高い。

経済的な困窮経験の有無(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)

		(%)		
		ある	ない	無回答
全 体 (N=2,130)		6.3	93.4	0.2
子 ど も の 学 年 別	1 年 生 (n= 363)	3.6	96.4	0.0
	2 年 生 (n= 366)	6.8	92.6	0.5
	3 年 生 (n= 369)	7.9	92.1	0.0
	4 年 生 (n= 344)	7.0	92.7	0.3
	5 年 生 (n= 355)	6.2	93.2	0.6
	6 年 生 (n= 330)	6.7	93.3	0.0
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 498)	8.2	91.8	0.0
	日 本 橋 地 域 (n= 695)	5.8	94.0	0.3
	月 島 地 域 (n= 936)	5.8	93.9	0.3
家 庭 類 型 別	タイプ A ひとり親家庭 (n= 64)	6.3	90.6	3.1
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	5.4	94.6	0.0
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	6.6	93.4	0.0
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	8.7	91.3	0.0
	タイプ D 専業主婦(夫) (n= 451)	7.1	92.2	0.7

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆子育てに関する悩みや気になること：就学前児童保護者調査(問8/報告書 P165)

子育てに関する悩みや気になることについて、経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「子育てに出費がかさむ(67.6%)」が最も多くなっている。また、その他にも 10 項目で全体を 5 ポイント以上上回っており、特に「子どもの教育に関すること(48.0%)」、「病気や発育・発達に関すること(38.5%)」、「子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと(29.7%)」は全体を 10 ポイント以上上回っている。

子育てに関する悩みや気になること(全体、経済的な困窮経験の有無別)：複数回答

		病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもの性格や癖が心配である	子どもが病気がちである	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもとの時間を十分に取れないこと	子育てについて話し相手や相談相手がいらないこと	自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまつて手を上げたり、無視してしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てによる身体の疲れが大きい	仕事が十分にできない	
全	体 (N=2,384)	28.5	39.2	30.7	3.5	6.3	16.2	28.4	8.4	32.4	25.4	5.8	12.6	38.7	19.1	
経済的な困窮の有無別	あ	る (n= 148)	38.5	45.9	33.1	4.7	11.5	19.6	29.7	10.8	37.2	29.1	6.8	18.9	47.3	22.3
	な	い (n=2,228)	27.9	38.8	30.6	3.5	6.0	15.9	28.3	8.2	32.2	25.2	5.7	12.1	38.2	18.9

		子育てに追われ、社会から孤立するようになる	子どもの教育に関すること	子どもの友達つきあいに関すること	登園拒否などの問題について	子育てに出費がかさむ	住居が狭い	子育てに関する協力が少ないこと	子育てに関して配偶者・パートナーと意見が合わないこと	近隣の人・職場など周囲の親族・目が気になる	自分の子育てについて、親族・配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	急な時に頼れる人がいない	その他	特になし	無回答	
全	体 (N=2,384)	7.3	37.3	18.9	3.0	40.3	51.8	14.9	9.6	4.2	23.1	41.3	2.3	2.9	1.1	
経済的な困窮の有無別	あ	る (n= 148)	12.2	48.0	20.9	4.7	67.6	56.1	29.7	14.9	6.8	29.7	48.6	6.1	0.7	0.0
	な	い (n=2,228)	7.0	36.7	18.8	2.9	38.5	51.5	13.9	9.2	4.0	22.6	40.9	2.1	3.1	1.2

◆子育てに関する悩みや気になること:小学校児童保護者調査(問8/報告書 P166)

子育てに関する悩みや気になることについて、経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「子育てに出費がかさむ(71.9%)」が最も多くなっている。また、その他にも11項目で全体を5ポイント以上上回っており、特に「住居が狭い(54.1%)」、「子どもの友達つきあいに関すること(45.9%)」、「急なときに頼れる人がいない(40.7%)」、「食事や栄養に関すること(34.8%)」は全体を10ポイント以上上回っている。

子育てに関する悩みや気になること(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもの性格や癖が心配である	子どもが病気がちである	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもとの時間を十分に取れないこと	子育てについて話し相手や相談相手がいらないこと	自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまってしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てによる身体の疲れが大きい	仕事が多分にできない
全	体 (N=2,130)	21.4	21.1	35.5	2.0	2.7	11.5	26.1	5.8	16.3	30.5	5.4	3.9	17.5	13.1
経済的な困窮の有無別	あ る (n= 135)	29.6	34.8	43.7	3.0	3.7	14.8	34.1	11.9	20.7	32.6	8.1	5.2	23.0	21.5
	な い (n=1,990)	20.7	20.2	35.0	2.0	2.6	11.3	25.6	5.3	15.9	30.2	5.2	3.8	17.1	12.6

		子育てに追われ、社会から孤立するようになる	子どもの教育に関すること	子どもの友達つきあいに関すること	登校拒否、不登校などの問題について	子育てに出費がかさむ	住居が狭い	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関して配偶者・パートナーと意見が合わないこと	近隣の人・職場など周囲の目が気になる	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周囲の目が気になる	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	急なときに頼れる人がいない	その他	特になし	無回答
全	体 (N=2,130)	4.3	45.2	34.2	5.7	38.8	40.1	16.8	11.5	4.5	16.9	29.4	2.2	6.1	1.5	
経済的な困窮の有無別	あ る (n= 135)	8.9	50.4	45.9	6.7	71.9	54.1	20.0	15.6	7.4	21.5	40.7	5.2	3.7	0.0	
	な い (n=1,990)	4.0	44.8	33.5	5.6	36.5	39.2	16.6	11.2	4.3	16.6	28.7	2.0	6.2	1.7	

◆子育てに関して気軽に相談できる人や場所:

就学前児童保護者調査(問9/報告書 P167)

子育てに関して気軽に相談できる人や場所は、全体では、「配偶者(83.6%)」が最も高く、「祖父母・兄弟等の親族(63.6%)」、「友人や知人(53.1%)」が続いている。「相談相手がいない」は 1.1%となっている。

経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「配偶者(70.3%)」、「幼稚園の園長・副園長・担任、保育所・認定こども園の園長または保育士(24.3%)」、「保育所・幼稚園等の他の保護者(20.3%)」で全体を5ポイント以上下回っている。

子育てに関して気軽に相談できる人や場所(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		配偶者	祖父母・兄弟等の親族	友人や知人	近所の人	職場の人	保育所・幼稚園等の他の保護者	も担任・園長の園長または保育士	幼稚園の園長・副園長・認定こども園の園長	民生・児童委員	区役所のひとり親家庭相談・女性相談・家庭相談	保健師・保健センター等の保健師	かかりつけの医師、看護	子ども家庭支援センター	子どもの発達支援センター	(%)
全体 (N=2,384)		83.6	63.6	53.1	5.2	16.4	27.4	31.7	0.2	0.3	1.8	10.8	2.7	2.3		
経済的な困窮の有無別	あ る (n= 148)	70.3	59.5	52.7	6.1	14.9	20.3	24.3	0.0	0.0	2.0	8.8	1.4	2.0		
	な い (n=2,228)	84.6	64.0	53.2	5.2	16.4	27.7	32.1	0.2	0.3	1.8	11.0	2.8	2.4		

		児童館	福祉センター	教育センター	社会福祉協議会(地域福祉コーデイネーター)	児童相談所	子育て支援を行うNPO	子どもほっとライン	インターネット上で相談する	その他	相談相手がいない	相談する機関がわからない	相談することがない	無回答
全体 (N=2,384)		6.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	2.4	1.8	1.1	0.3	0.5	0.3
経済的な困窮の有無別	あ る (n= 148)	7.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	3.4	3.4	3.4	0.7	2.0	0.0
	な い (n=2,228)	5.8	0.2	0.3	0.1	0.2	0.0	0.1	2.4	1.6	0.9	0.2	0.4	0.3

◆子育てに関して気軽に相談できる人や場所：

学校児童保護者調査(問9/報告書 P168)

子育てに関して気軽に相談できる人や場所は、全体では、「配偶者(75.9%)」が最も高く、「友人や知人(56.1%)」、「祖父母・兄弟等の親族(53.0%)」が続いている。「相談相手がいない」は 2.0%となっている。

経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「配偶者(65.9%)」、「友人や知人(46.7%)」で全体を 5 ポイント以上下回っている。また、「相談相手がいない」が 6.7%と全体を 4.7 ポイント上回っている。

子育てに関して気軽に相談できる人や場所(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		配偶者	祖父母・兄弟等の親族	友人や知人	近所の人	職場の人	保育所・幼稚園、小学校等の他の保護者	保育所・幼稚園、小学校等の担任等	学童クラブや子どもの居場所「ブレデイ」の職員等	民生・児童委員	区役所のひとり親家庭相談・女性相談・家庭相談	保健所・保健センター等の保健師等	かかりつけの医師、看護師等	子ども家庭支援センター	子どもの発達支援センター	(%)
全 体 (N=2,130)		75.9	53.0	56.1	7.0	16.9	23.3	15.6	4.4	0.1	0.1	0.4	6.6	1.0	0.8	
経済的な困窮経験の有無別	あ る (n= 135)	65.9	51.1	46.7	3.7	14.8	20.7	13.3	3.7	0.0	0.0	0.7	3.7	0.7	1.5	
	な い (n=1,990)	76.6	53.1	56.7	7.3	17.1	23.5	15.8	4.4	0.2	0.2	0.4	6.8	1.0	0.8	

		児童館	福祉センター	教育センター	社会福祉協議会(地域福祉コーディネーター)	児童相談所	子育て支援を行うNPO等	子どもほっとライン	インターネット上で相談する	その他	相談相手がいない	相談する機関がわからない	相談することがない	無回答
全 体 (N=2,130)		1.7	0.2	1.8	0.0	0.1	0.2	0.1	0.7	3.2	2.0	0.1	1.4	0.3
経済的な困窮経験の有無別	あ る (n= 135)	3.0	0.0	2.2	0.0	0.7	0.7	0.0	1.5	5.2	6.7	0.0	0.7	0.0
	な い (n=1,990)	1.7	0.2	1.8	0.0	0.1	0.2	0.2	0.6	3.1	1.6	0.1	1.5	0.3

◆子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無:

就学前児童保護者調査(問 10/報告書 P169)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無について、経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「いずれもない」が 42.6%と全体を 7.3 ポイント上回っている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無

(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		親日常的にみて祖父母・兄弟等の	ても祖緊も日常的に友人・知人にみて	も日常的に友人・知人にみて	友緊急・時またはみ用て事の際には	いずれもない	無回答
全 体 (N=2,384)		9.4	53.2	0.4	6.6	35.3	0.4
経 済 的 な 困 窮 経験の有無別	あ る (n= 148)	10.8	43.2	0.7	6.8	42.6	0.0
	な い (n=2,228)	9.3	53.8	0.4	6.5	34.9	0.4

◆子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無:

小学校児童保護者調査(問 10/報告書 P169)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無について、経済的な困窮経験の有無別にみると、経験がある人もない人も全体と同様の傾向である

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無

(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		親日常的にみて祖父母・兄弟等の	ても祖緊も日常的に友人・知人にみて	も日常的に友人・知人にみて	友緊急・時またはみ用て事の際には	いずれもない	無回答
全 体 (N=2,130)		9.6	47.4	1.7	15.7	35.3	0.2
経 済 的 な 困 窮 経験の有無別	あ る (n= 135)	8.9	47.4	3.0	11.1	38.5	0.0
	な い (n=1,990)	9.7	47.4	1.7	16.0	35.0	0.2

(5) 経済的な困窮経験がある人(ひとり親家庭実態調査)

◆経済的な困窮経験の有無(問30/報告書 P170)

<経済的な理由による困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」もしくは「頻繁にあった」と回答した人>

経済的な理由による困窮経験は、全体では、「ある」が44.6%となっている。

年代別で見ると、40歳代以上の「ある」が47.7%と最も高くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域で「ある」が4割を超えている。

末子の年代別にみると、15歳～18歳の「ある」が58.6%と5割を超えている。

経済的な困窮経験の有無(全体、性別、年代別、居住地域別、末子の年代別)

		(%)		
		ある	ない	無回答
全	体 (N=296)	44.6	55.1	0.3
性別	男 性 (n= 12)	33.3	66.7	0.0
	女 性 (n=283)	45.2	54.4	0.4
年代別	30 歳 代 (n= 58)	39.7	58.6	1.7
	40 歳 代 (n=151)	47.7	52.3	0.0
	50 歳 代 (n= 78)	43.6	56.4	0.0
	60 歳 代 以 上 (n= 3)	33.3	66.7	0.0
居住地域別	京 橋 地 域 (n= 60)	41.7	58.3	0.0
	日 本 橋 地 域 (n= 80)	48.2	50.6	1.2
	月 島 地 域 (n=153)	43.8	56.2	0.0
末子の年代別	0 歳 ～ 5 歳 (n= 34)	23.5	73.5	2.9
	6 歳 ～ 11 歳 (n= 95)	45.3	54.7	0.0
	12 歳 ～ 14 歳 (n= 61)	37.7	62.3	0.0
	15 歳 ～ 18 歳 (n= 87)	58.6	41.4	0.0

◆今の生活の悩みや将来の生活への不安:

ひとり親家庭実態調査(問 27(1)、(2)/報告書 P85)

今の生活の悩みは、全体では、「物価高騰による経済的負担の増加(83.4%)」が最も高く、「自分の健康(59.1%)」、「家が狭い・快適ではない(35.1%)」が続いている。「特にない」は 4.1%である。

経済的な困窮経験の有無別にみると、経験がある人は「家が狭い・快適でない(47.7%)」が全体よりも 12.6 ポイント高くなっている。「物価高騰による経済的な負担の増加(90.2%)」も全体よりも 6.8 ポイント高くなっている。

今の生活の悩み(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		(%)										
		自分の健康	仕事の拘束時間	家事の負担	食生活・栄養	家が狭い・快適でない	周囲の理解不足	ひとり親家庭への	物価高騰による経済的負担の増加	その他	特にない	無回答
全	体 (N=296)	59.1	23.6	28.7	28.4	35.1	13.2		83.4	7.1	4.1	0.3
経済的	あ	62.9	26.5	32.6	34.8	47.7	19.7		90.2	8.3	0.8	0.8
困窮	な	55.8	21.5	25.8	22.7	24.5	7.4		77.9	6.1	6.7	0.0
経験の有無別												

将来の不安は、全体では、「子どもの教育費や将来のこと(80.1%)」が最も高く、「生活費が足りなくなる(73.0%)」、「自分の老後のこと(59.8%)」が続いている。「特にない」は 3.7%である。

経済的な困窮経験の有無別にみると、経験がある人は「生活費が足りなくなる(89.4%)」が全体よりも 16.4 ポイント高くなっており、「就職・転職できるかどうか(33.3%)」が全体よりも 13.3 ポイント高くなっている。

将来の不安(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		(%)									
		生活費が足りなくなる	就職・転職ができるかどうか	今の仕事が続けられるかどうか	自分の親の介護	子どもの教育費や将来のこと	再婚	自分の老後のこと	その他	特にない	無回答
全	体 (N=296)	73.0	23.0	37.5	40.2	80.1	11.5	59.8	2.7	3.7	0.0
経済的	あ	89.4	33.3	40.2	42.4	84.1	15.2	60.6	2.3	0.8	0.0
困窮	な	59.5	14.7	35.0	38.7	76.7	8.6	58.9	3.1	6.1	0.0
経験の有無別											

◆子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無:

ひとり親家庭実態調査(問 34/報告書 P86)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無は、全体では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(41.2%)」が最も高く、「緊急時もしくは用事の際には友人・知人にみてもらえる(19.3%)」が続いている。「いずれもない」は、31.8%である。

経済的な困窮経験の有無別にみると、経験がある人は「日常的に祖父母、兄弟等の親族にみてもらえる(9.1%)」が全体よりも 6.4 ポイント低くなっている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無

(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		(%)					
		日常的に親族にみてもらえる(兄弟)	緊急時には祖父母等親族に	日常的に友人・知人に	緊急時には友人・知人に	いずれもない	無回答
全	体 (N=296)	15.5	41.2	2.7	19.3	31.8	1.4
経	験あ (n=132)	9.1	43.2	1.5	15.9	34.1	2.3
験	ない (n=163)	20.9	39.9	3.7	22.1	29.4	0.6

3. サービスを利用できなかった理由について

(1) 定期的な施設・事業を利用していない理由

◆ 定期的な施設・事業を利用していない理由:

就学前児童保護者調査(問 13-6/報告書 P33)

定期的に施設・事業を利用していない人の利用していない理由について、子どもの年齢別にみると、どの年齢でも「母親または父親がみている」が最も高い。また、0歳では「子どもがまだ小さいため(43.6%)」、1歳では「利用したいが、経済的な理由で利用できない(14.8%)」が全体を 5.0 ポイント以上上回っている。

居住地域別にみると、どの地域でも「母親または父親がみている」が最も高い。また、日本橋地域では「子どもがまだ小さいため(44.8%)」が全体を 5.0 ポイント以上上回っている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「母親または父親がみている」が最も高い。また、タイプ B では「子どもがまだ小さいため(44.5%)」、タイプ C では「利用したいが、施設・事業に空きがない(23.8%)」、「子どもの祖父母や親戚の人がみている(19.0%)」、「利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない(9.5%)」、タイプ C' では「子どもの祖父母や親戚の人がみている(11.1%)」、「利用したいが、質や場所など納得できる施設・事業がない(11.1%)」が全体を 5.0 ポイント以上上回っている。

※n=10 以下についてはコメントしていない。

定期的な施設・事業を利用していない理由(子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別): 複数回答
<定期的に施設・事業を利用していない人>

		母親または父親がみている	子どもがみている 祖父母や親戚の人が	近所の人や 友人・知人	利用したいが、 施設・事業に	利用したいが、 経済的な理由	利用したいが、 延長・夜間等	利用したいが、 質や場所など	子どもがまだ小さいため	その他	(%) 無回答
全	体 (n= 465)	82.6	4.7	0.0	15.5	7.1	1.3	4.9	38.1	6.5	1.9
子どもの年齢別	0 歳 (n= 280)	79.3	3.2	0.0	16.8	2.9	1.1	3.2	43.6	5.4	2.5
	1 歳 (n= 108)	88.0	7.4	0.0	15.7	14.8	1.9	9.3	30.6	10.2	0.9
	2 歳 (n= 66)	87.9	6.1	0.0	7.6	10.6	1.5	6.1	30.3	6.1	1.5
	3 歳 (n= 4)	100.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4 歳 (n= 1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5 歳 (n= 3)	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
居住地域別	京 橋 地 域 (n= 111)	81.1	9.0	0.0	15.3	3.6	0.0	2.7	37.8	5.4	1.8
	日 本 橋 地 域 (n= 145)	82.8	6.2	0.0	17.9	10.3	3.4	6.9	44.8	7.6	1.4
	月 島 地 域 (n= 208)	83.2	1.4	0.0	13.5	6.7	0.5	4.8	33.7	6.3	2.4
家庭類型別	タイプ A ひとり親家庭 (n= 8)	87.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0
	タイプ B フルタイム×フルタイム (n= 218)	75.7	4.1	0.0	18.8	5.5	0.5	4.1	44.5	5.5	2.8
	タイプ C フルタイム×パートタイム (n= 21)	85.7	19.0	0.0	23.8	9.5	9.5	9.5	23.8	0.0	0.0
	タイプ C' フルタイム×パートタイム (n= 18)	88.9	11.1	0.0	5.6	5.6	5.6	11.1	27.8	11.1	5.6
	タイプ D 専業主婦(夫) (n= 190)	89.5	3.2	0.0	11.6	8.4	1.1	4.2	34.2	7.4	0.5

※家庭類型タイプ E、E'、F は対象者数が少ないので記載しない。

(2)区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由

◆区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由:

就学前児童保護者調査(問 19-3/報告書 P56)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを看た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人に、利用しなかった理由をたずねた。子どもの年齢別にみると、1歳では「定員が少なく、当日預けられなかった」が最も高く、その他の年齢では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、京橋地域、日本橋地域では「利用手続きが煩雑で面倒である」、月島地域では「定員が少なく、当日預けられなかった」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAで「定員が少なく、当日預けられなかった」、タイプ D では「利用料・利用方法などシステムがわからない」、それ以外の家庭類型では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由

(子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別):複数回答

<父親や母親が仕事を休んで子どもを看た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人>

(%)

		ら病 う気 のの 子 不 安 も を 他 人 に 看 て も	サ ー ビ ス の 質 に 不 安 が あ る	能 立 地 や 利 用 が 可 能 時 間 、 利 用 可	る 利 用 手 続 き が 煩 雑 で 面 倒 で あ	利 用 料 が か か る ・ 高 い	ム 利 用 料 ・ 利 用 方 法 な ど シ ス テ	か つ 定 員 が 少 な く 当 日 預 け ら れ な	そ の 他	無 回 答
全	体 (n= 665)	19.8	5.3	32.6	52.6	11.3	30.2	44.2	16.5	0.6
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 76)	22.4	7.9	28.9	50.0	11.8	35.5	44.7	19.7	0.0
	1 歳 (n= 129)	23.3	4.7	31.0	48.1	13.2	25.6	52.7	13.2	0.8
	2 歳 (n= 141)	17.7	4.3	31.2	46.8	10.6	31.2	45.4	18.4	0.7
	3 歳 (n= 118)	18.6	5.1	34.7	62.7	11.0	33.1	38.1	12.7	0.8
	4 歳 (n= 106)	17.9	1.9	39.6	55.7	11.3	34.9	39.6	17.0	0.9
	5 歳 (n= 92)	19.6	9.8	30.4	53.3	7.6	21.7	43.5	19.6	0.0
地 域 別 居 住	京 橋 地 域 (n= 176)	18.2	4.5	29.5	47.7	8.5	29.0	43.8	15.3	1.7
	日 本 橋 地 域 (n= 220)	21.8	5.0	39.1	61.8	10.9	37.3	35.9	17.3	0.0
	月 島 地 域 (n= 268)	19.4	6.0	29.5	48.1	13.1	25.4	51.1	16.8	0.4
家 庭 類 型 別	タイプA ひとり親家庭 (n= 15)	0.0	6.7	33.3	46.7	20.0	33.3	53.3	6.7	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 526)	20.5	5.1	34.6	54.4	10.1	29.5	46.0	15.0	0.4
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 68)	17.6	1.5	27.9	51.5	16.2	30.9	38.2	23.5	0.0
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 16)	31.3	18.8	18.8	50.0	18.8	43.8	12.5	25.0	0.0
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 18)	27.8	11.1	11.1	27.8	11.1	55.6	22.2	27.8	0.0

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由:

小学校児童保護者調査(問 14-3/報告書 P123)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを看た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人に、利用しなかった理由をたずねた。子どもの学年別にみると、5年生では「立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない」と「定員が少なく当日預けられなかった」が同率で最も高い。それ以外の学年では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、京橋地域では「利用料・利用方法などシステムがわからない」、日本橋地域、月島地域では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAでは「利用料・利用方法などシステムがわからない」、タイプCでは「立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない」と「利用手続きが煩雑で面倒である」が同率で最も高くなっている。その他の家庭類型では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由

(子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別):複数回答

<父親や母親が仕事を休んで子どもを看た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人>

(%)

		ら病 う気 のの 子 ど も を 他 人 に 看 て も	サ ー ビ ス の 質 に 不 安 が あ る	能 立 地 や 利 用 可 能 日 数 な ど が 合 わ な い 、 利 用 可 能	る 利 用 手 続 き が 煩 雑 で 面 倒 で あ る	利 用 料 が か か る ・ 高 い	ム 利 用 料 が よ く ・ 利 用 方 法 な ど シ ス テ ム が わ か ら な い	か つ た 定 員 が 少 な く 当 日 預 け ら れ な か つ た	そ の 他	無 回 答
全	体 (n= 221)	17.6	6.3	32.6	47.1	9.5	35.3	29.9	19.9	1.4
子 ど も の 学 年 別	1 年 生 (n= 59)	15.3	5.1	37.3	44.1	10.2	32.2	40.7	8.5	0.0
	2 年 生 (n= 48)	25.0	12.5	35.4	60.4	10.4	45.8	27.1	14.6	0.0
	3 年 生 (n= 50)	14.0	2.0	26.0	44.0	6.0	36.0	24.0	36.0	2.0
	4 年 生 (n= 31)	22.6	6.5	32.3	45.2	9.7	38.7	12.9	22.6	0.0
	5 年 生 (n= 18)	5.6	5.6	33.3	22.2	11.1	16.7	33.3	22.2	11.1
	6 年 生 (n= 15)	20.0	6.7	26.7	60.0	13.3	26.7	46.7	20.0	0.0
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 49)	10.2	4.1	22.4	44.9	12.2	46.9	18.4	18.4	4.1
	日 本 橋 地 域 (n= 65)	16.9	9.2	40.0	55.4	7.7	36.9	29.2	15.4	0.0
	月 島 地 域 (n= 107)	21.5	5.6	32.7	43.0	9.3	29.0	35.5	23.4	0.9
家 庭 類 型 別	タイプA ひとり親家庭 (n= 8)	12.5	12.5	50.0	50.0	25.0	62.5	37.5	12.5	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 122)	18.0	4.1	32.0	48.4	10.7	35.2	25.4	20.5	0.8
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 40)	15.0	10.0	40.0	40.0	5.0	35.0	32.5	27.5	0.0
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 17)	11.8	5.9	35.3	58.8	11.8	29.4	52.9	5.9	11.8
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 27)	22.2	7.4	22.2	40.7	3.7	33.3	33.3	14.8	0.0

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(3)不定期で事業を利用していない理由

◆不定期で事業を利用していない理由：就学前児童保護者調査(問 20-1/報告書 P61)

この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人に、不
定期で事業を利用していない理由をたずねた。子どもの年齢別にみると、どの年齢でも「特に利用する必
要がない」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、どの地域でも「特に利用する必要がある」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「特に利用する必要がある」が最も高くなっている。また、タ
イプC'では「事業があることを知らなかった(15.4%)」、タイプDでは「利用料がかかる・高い
(20.5%)」が全体を5ポイント以上上回っている。

不定期で事業を利用していない理由(子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)：複数回答
<この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人>

(%)

		か事業 があった	特に 利用する 必要がない	利用 したい 事業がない	サー ビスの 質に不安 がある	安 子ども である が馴染 むかど うか不	可 能日 数な どが 合わ ない	立 地や 利用 可能 時間、 利用	あ る 利用 手続 きが 煩雑 で面 倒で	利 用料 がか かる ・高 い	テ 利用 料が よく 利用 方法 から ない など シ ス	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=1,681)	9.3	53.1	4.6	8.6	22.5	15.5	32.5	12.7	23.8	6.5	0.4	
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 253)	8.7	57.7	4.0	11.9	23.3	11.5	28.5	11.1	28.1	6.7	0.0	
	1 歳 (n= 252)	8.3	56.0	2.8	11.5	26.2	15.5	29.8	16.7	23.4	7.5	0.4	
	2 歳 (n= 285)	7.4	49.8	4.9	8.1	25.3	15.1	34.4	13.3	21.8	7.0	0.4	
	3 歳 (n= 283)	9.2	53.0	5.3	8.1	21.9	15.5	34.6	12.7	23.7	6.0	0.4	
	4 歳 (n= 290)	12.4	47.9	5.9	4.8	21.4	16.6	34.5	11.4	23.1	6.6	0.7	
	5 歳 (n= 303)	9.9	55.8	4.6	7.9	18.2	18.2	32.3	10.6	23.8	5.9	0.3	
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 393)	8.9	49.4	5.1	8.7	23.9	15.0	31.0	12.2	23.7	8.4	0.5	
	日 本 橋 地 域 (n= 586)	11.1	52.0	4.8	8.4	22.9	18.4	34.1	11.1	24.4	5.6	0.2	
	月 島 地 域 (n= 697)	8.0	56.2	4.2	8.8	21.5	13.3	31.9	14.1	23.4	6.2	0.6	
家 庭 類 型 別	タイプA ひとり親家庭 (n= 46)	10.9	54.3	6.5	4.3	17.4	10.9	34.8	10.9	15.2	4.3	0.0	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,126)	9.2	52.6	4.8	8.3	22.5	16.0	33.1	10.7	24.3	6.7	0.4	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 144)	4.9	56.3	5.6	6.9	20.1	16.7	34.7	11.1	20.8	4.2	0.7	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 52)	15.4	55.8	7.7	1.9	15.4	17.3	30.8	17.3	23.1	5.8	0.0	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 268)	10.8	57.1	2.2	11.9	25.0	11.6	27.6	20.5	23.9	8.2	0.0	

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

◆不定期で事業を利用していない理由：小学校児童保護者調査(問 15-1/報告書 P128)

この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人に、不定期で事業を利用していない理由をたずねた。子どもの学年別にみると、どの学年でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。また、1年生では「利用手続きが煩雑で面倒である(25.1%)」、「利用料・利用方法などシステムがよくわからない(24.8%)」が全体を5ポイント以上上回っている。

居住地域別にみると、どの地域でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。

不定期で事業を利用していない理由(子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別):複数回答
 <この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人>

		か事業があった	特に利用する必要がない	利用したい事業がない	サービスの質に不安がある	子どもが馴染むかどうか不安である	立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない	利用手続きが煩雑で面倒である	利用料がかかる・高い	利用料がよくわからない	その他	無回答				
全		体 (n=1,981)	16.8	63.0	5.6	5.7	14.3	9.2	19.5	6.2	18.5	5.0	0.2			
子どもの学年別	1	年生 (n= 327)	16.5	53.8	3.7	7.0	15.9	12.8	25.1	8.3	24.8	5.8	0.0			
	2	年生 (n= 339)	14.7	56.3	5.3	6.5	18.9	9.1	23.6	6.5	19.5	5.3	0.3			
	3	年生 (n= 342)	15.5	60.8	5.8	4.1	12.3	10.2	20.8	5.3	17.0	7.0	0.0			
	4	年生 (n= 321)	19.9	65.4	5.0	7.2	14.0	7.5	20.2	5.9	18.7	2.5	0.9			
	5	年生 (n= 335)	16.7	66.3	5.1	4.8	13.7	9.9	16.1	6.0	17.6	6.6	0.0			
	6	年生 (n= 315)	17.8	75.9	8.9	4.8	10.5	5.7	10.8	5.1	13.7	2.9	0.0			
地域別	京	橋	地	域 (n= 467)	17.6	59.7	6.0	8.8	17.1	10.1	21.6	6.0	19.9	4.3	0.0	
	日	本	橋	地	域 (n= 650)	16.2	62.9	6.6	4.8	12.0	9.2	18.6	5.1	18.5	5.7	0.2
	月		島	地	域 (n= 864)	16.9	64.8	4.6	4.7	14.5	8.8	19.1	7.1	17.8	5.0	0.3
家庭類型別	タイプ A	ひとり親家庭 (n= 59)		15.3	59.3	3.4	5.1	10.2	10.2	23.7	8.5	10.2	8.5	0.0		
	タイプ B	フルタイム×フルタイム (n= 906)		17.8	61.0	5.2	5.8	14.8	9.2	22.2	6.0	19.6	4.4	0.2		
	タイプ C	フルタイム×パートタイム (n= 320)		17.8	66.9	5.9	4.7	13.4	10.3	17.5	5.0	16.9	3.1	0.0		
	タイプ C'	フルタイム×パートタイム (n= 181)		9.4	61.9	8.8	3.9	13.8	9.9	18.2	10.5	18.8	7.2	0.6		
	タイプ D	専業主婦(夫) (n= 412)		17.2	67.2	4.9	6.3	15.0	6.1	15.0	5.1	19.7	5.6	0.2		

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

4. 父親の育児参加について

◆子育てを主に行っている人：就学前児童保護者調査：(問7/報告書 P170)

子育てを主に行っている人について、子どもの年齢別にみると、0歳で「主に母親」が75.8%と高くなっている。

回答者別にみると、母親では「主に母親」が68.3%で最も高く、父親では「父親・母親とも同じくらい」が56.7%で最も高くなっている。

子育てを主に行っている人(子どもの年齢別、回答者別)

			主に母親	主に父親	父親・母親とも同じくらい	主に祖父母	その他	無回答
								(%)
全		体 (N=2,384)	63.7	0.7	34.9	0.2	0.2	0.3
子どもの年齢別	0	歳 (n= 418)	75.8	0.5	23.0	0.0	0.7	0.0
	1	歳 (n= 400)	60.8	0.3	38.5	0.3	0.3	0.0
	2	歳 (n= 411)	62.0	0.5	37.2	0.2	0.0	0.0
	3	歳 (n= 390)	58.5	0.5	40.5	0.5	0.0	0.0
	4	歳 (n= 378)	66.1	1.3	31.7	0.0	0.3	0.5
	5	歳 (n= 369)	58.5	1.1	40.1	0.3	0.0	0.0
回答者別	母	親 (n=2,008)	68.3	0.2	31.0	0.2	0.1	0.1
	父	親 (n= 358)	39.4	3.1	56.7	0.3	0.6	0.0
	その他	(n= 10)	40.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0